

パラスポーツのドラマを感じるイベント「BEYOND STADIUM」に参加



写真① ブラインドテニスの競技説明パネル



写真② 来場者にブラインドテニスの説明をするスタッフ

平成31年2月24日(日)、東京都が主催する「BEYOND STADIUM」が、大田区総合体育館で開催されました。パラスポーツを観戦・応援し、競技やパラアスリートの魅力、応援の楽しさ等を体感していただくイベントとして、世代を問わず多くの方々にご来場いただきました。

錦城護謨株式会社(本社：大阪府八尾市、代表取締役社長：太田泰造)は、「BEYOND STADIUM」にてブラインドテニスの競技紹介を実施し、ご来場の皆様にブラインドテニスの魅力をお伝えする活動を行いました。

錦城護謨は、障がい者がハンデとならない社会づくりの一環として、ブラインドテニスを応援する支援活動に取り組んでいます。一例として、ブラインドテニス大会の会場に視覚障がい者歩行誘導マットを提供・設置し、大会の円滑な運営に協力しています。

錦城護謨のパラスポーツへの取り組みはこちら：<http://www.kinjogomu.jp/welfare/paraspo.html>

■BEYOND STADIUM 概要

概要：パラスポーツの応援プロジェクト「TEAM BEYOND」の一環として、パラスポーツを観戦・応援し、競技やパラアスリートの魅力、応援の楽しさ等を体感していただくイベント。

主催：東京都、後援：大田区、(公財)日本障がい者スポーツ協会

詳しくはこちら：<https://www.para-sports.tokyo/stadium/>

■日本ブラインドテニス連盟 概要

連盟の目的は、障害の有無に関係なく、共にテニスに親しみ、余暇活動の善用により社会での融和を図り、生活の質の向上に寄与すること。事業は、競技大会の開催、テニスの指導及び普及による研修会・講習会の開催、技術等の研究と開発などを行っている。組織としては、本連盟に属する協会として、北海道協会、関東地域協会、中部地域協会、近畿協会、中国地域協会があり、各協会でも活発に活動している。

■視覚障がい者歩行誘導ソフトマット概要

いわゆる誘導ブロックの代替品として視覚障がい者が考案し、身体障がい者等協力のもと開発された、ゴム製の屋内専用誘導マット。身体障がい者のほか、車いすや幼児・高齢者、ベビーカーやハイヒールなどにも障害にならない設計で、全ての人の利便性に配慮した「ユニバーサルデザイン」の考えをベースにしている。

視覚障がいの方は、白杖で叩いた時の音の違いや、足裏に伝わる質感の違いによって誘導路を認識することができる。両面テープでの施工となるので、簡単に設置ができる。レイアウト変更や一時的なイベントの利用でも対応可能。

2016年2月に、ドイツ「iFデザインアワード」の金賞を受賞。同アワードは全世界から優れたデザインを選定するもので、「プロダクト部門・公共デザインカテゴリー」で日本初の金賞を受賞。その他にも多数のアワードを受賞し、世界的にも注目されている。



■お問合せ先

錦城護謨株式会社 東京支社 ホドウクン担当 TEL：03-3433-2631 / FAX：03-3433-2634